

とよた市議会 だより

6月市議会
定例会号
平成23年7月15日

ファイルNo.
106

市税条例の一部を改正

東日本大震災に係る控除の特例が創設されます

市民の交通手段を確保します

新規基幹バスに小型ノンステップバスを導入(上郷・高岡地区)

ピックアップ
TOPICS
トピックス



消防ポンプ自動車3台を更新

火災に適切に対応するための訓練を実施し、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

●トップインフォメーション

市議会へ行こう!! ~市議会のしくみ~ 2

市議会を聴きにきませんか? 3

●議案説明・討論

条例改正・財産の取得など 4

●採決一覧 議案審議結果 5

●常任委員会 付託案件・請願・陳情を審査 6

市政について問う!

●一般質問 21人の議員が質問 8

●トピックス

市議会傍聴、議員研修など 12



Let's GO!

市議会へ 行こう!!



第1回
市議会のしくみ

こんにちは、みなさん。
4月に行われた選挙でみなさんが選んだ46人の議員が、市民の代表として活動を始めています。
ところで、市議会でどんなことが行われているか、知っていますか？



市議会Q&A

市議会では
こんな事が
行われています！



Q 市議会って何？

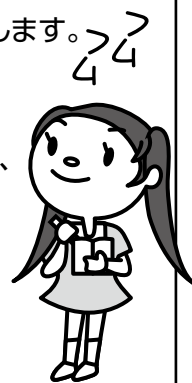
A だれもが住み続けたいと思うような、まちにしていくためには市民全員で話し合うことが一番よい方法です。しかし、実際に市民全員で集まって話し合うことはできません。
そこで、市民のみなさんが選挙によって自分たちを代表する人を選んで、その代表者が話し合い、まちづくりを進めていく。それが市議会の役目です。

Q 市議会はいつ開催されているのですか？

A 年に4回(3・6・9・12月)の「定例会」を開催します。また、急いで決めなければならないことがあった時は「臨時会」を行うこともあります。

Q どんなことが行われているの？

A まちづくりのための大切な「決まり(条例)」を決めたり、改めたりします。他にも、市が仕事をするためのお金(予算)を決めたり、そのお金が正しく使われているかを調べます。
また、市の仕事が生かされるために正しく行われているかを調べたり、市民の暮らしをよくするために意見を出したりします。



Q 身近な問題をどんなふうに話し合っているの？

A では、具体的に「公園ができるまで」を例にお答えします！ ⇒ 次ページへ



公園ができるまで...



議案

議案
公園の建設
について

本会議

建設費は?
広さは?
場所は?

議案について議員が質問したり、委員会での話し合いの結果を聞きます。

公園の建設

賛成多数で公園が建設されます。

委員会

議案の中身を本会議より、細かく話し合います。

採決(建設の決定)

賛成!

議員の多数決によって賛成か反対が決まります。



どなたでも!

①

受付は...

簡スゴク!

受付は住所と氏名を記入するだけ!

②

◆お問い合わせ
豊田市議会事務局
TEL.0565-34-6665

④

議会の傍聴

傍聴券があれば
会場に自由に
出入りが
できるよ!

③

傍聴券の交付



工事請負契約の締結、財産の取得など9議案を議決

主な案件名	内容
<p>条例の一部改正</p> <p>【第73号】 市税条例の一部改正条例</p>	<p>地方税法の改正に伴い、東日本大震災により住宅や家財等について生じた損失について、その損失額を平成22年分の総所得金額等から雑損控除として控除できることとします。</p> <p>また、住宅借入金等特別税額控除の適用を受けていた住宅が東日本大震災により居住できなくなった場合においても、控除対象期間の残りの期間について、引き続き税額控除を適用することができることとします。</p>
<p>財産の取得</p> <p>【第79号】 財産の取得について(基幹バス)</p>	<p>上郷地区と高岡地区を結ぶ新規基幹バスの運行を、今秋から予定しています。この路線は住宅地と鉄道駅、学校、病院などを連絡し、市民の交通手段を確保するもので、ここで使用する小型ノンステップバス2台を購入します。また、川口・飯野線で使用中の小型バス1台を老朽化のため更新します。</p>

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

自民クラブ 杉浦 昇

議案第74号は産業廃棄物の適正な処理に向けた監視指導の強化という観点から、国から示された新たな基準が確実に本条例に反映された点を評価し、今後、一層の産業廃棄物の適正処理が推進され、厳正なる対応を期待し、賛成。

議案第77号は、ここ数年、行き過ぎた受注競争により低入札が多発し、同時に労働者の賃金の切り下げなども懸念されてきた中においては高く評価されるものであり、今後とも価格と品質のバランスが取れた契約の締結を進めていただくことを求め、賛成。

市民フォーラム 山野辺 秋夫

議案第74号は、いずれも国の示した基準に準じて行政処分を軽減するものであるが、産業廃棄物適正処理の確保に支障のないことが、議案質疑を通じて確認できた。今後も本条例が適切に運用されることを求め、賛成。

議案第77号は、市内経済の活性化や労働条件の向上につながることを確認、今後は、提案された内容の確実な履行を確認するなど、「豊田市公契約基本方針」の考えに沿った適正な公契約の推進を図ることを求め、賛成。

議案第79号は、公共交通機関空白

地の解消による利便性の向上だけではなく、今後、マイカーから公共交通機関への乗り換えにより、環境負担の低減につながることを期待し、賛成。

公明党 鎌田ひとみ

議案第75号、第76号は、豊田スタジアムの屋内プールの天井落下のような大事故を2度と繰り返さないためにも市内の同様の公共施設においても早急に劣化や、腐食の点検調査をするべきであると考え。福祉施設の円滑な利用のためにも慎重な安全確認を講ずることを申し上げ、賛成。

議案第78号は、使用方法、使用頻度等にも配慮し、さらにメンテナンスにおいてもこれまで以上の配慮をし、機器の延命化、処分場の延命化に努め、更なる行財政改革に努めることを期待し、賛成。

諸 派 根本 美春

議案第78号は、廃棄物処分場、グリーンクリーンふじの丘について、土砂を使用した場合の全体容量に対し、散布機の使用により全体容量が軽減され、処分場の延命化のために、散布機の更新は必要と考え、賛成。

議案第79号は、基幹バスの路線の拡大にともなう新規購入と、バスの老朽化

に伴う更新で、バスを購入するもの。基幹バスを導入して以降、市民ニーズに応え必要に応じて路線を拡大し、バスの購入を実施してきた結果と考える。今後のバス購入については、国の交付金も活用し効果的な方法を検討していくとの答弁があり、公共交通のさらなる拡大への認識が確認され、賛成。

諸 派 岡田 耕一

議案第76号、どんぐりの湯改修は、来訪客が増加し、稲武地区全体への経済効果、その他波及効果を大いに期待するところであり、今後の民間施設との連携と稲武地区の活性化を期待し、賛成。過誤納還付金は、仕方がないとはいえ、非常に大きな金額で、仮に今後もこうした事例が発生するのであれば、地方自治体の不利益にならないよう、国による何らかの措置を期待し賛成。林道舗装費・林道改良費は、林道としてだけではなく、地元の重要な生活道路とも成っている各路線の早期整備を期待し、賛成。

議案第79号は、行政として、適切な運賃支払いに関する市民への理解活動、啓発活動をしっかり行い、地元の大切な交通手段として、愛されるおいでんバスを目指し、継続して運行されることを期待し、賛成。



議案審議結果

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件	採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く								
		自民クラブ 28名		市民フォーラム 9名(1名欠)		公明党 4名		諸派 4名		
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	
◆議案										
第72号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例	原案可決	28	0	8	0	4	0	4	0
73	市税条例の一部改正条例	//	28	0	8	0	4	0	4	0
74	産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例の一部改正条例	//	28	0	8	0	4	0	4	0
75	産業福祉施設どんぐりの里いなぶ条例の一部を改正する条例の一部改正条例	//	28	0	8	0	4	0	4	0
76	平成23年度一般会計補正予算	//	28	0	8	0	4	0	4	0
77	工事請負契約の締結(都市計画道路猿投公園線高架橋上部工工事)	//	28	0	8	0	4	0	4	0
78	財産の取得(覆土代替機散布機)	//	28	0	8	0	4	0	4	0
79	// (基幹バス)	//	28	0	8	0	4	0	4	0
80	// (消防ポンプ自動車)	//	28	0	8	0	4	0	4	0
◆同意										
第3号	監査委員の選任(新任:池野甲志氏)	同意	28	0	8	0	4	0	4	0
4	人権擁護委員の推薦(新任:伊藤正晴氏、小野田泰廣氏、櫻井博氏、杉山光弘氏、中根源博氏、那須邦子氏、松山美重子氏)	//	28	0	8	0	4	0	4	0
◆報告										
第6号	専決処分の報告(損害賠償額の決定1件、工事請負契約の変更1件)									
7	継続費等の報告(継続費、繰越明許費、予算繰越し)									
◆陳情										
第3号	働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書									
4	「教育基本法」・「学校教育法」の改正、「学習指導要領」の全面改訂に基づいた教科書採択がされるよう教育委員会への意見書の提出を求める陳情書									

陳情

【陳情 第3号】働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書

3月11日に起こった東日本大震災により、自治体の機能が果たせないような状況が生まれているなか、改めて、「住民の福祉の増進を図る」という自治体の役割発揮が求められている。よって件名のごとくに国及び自治体に要望する。

【陳情 第4号】「教育基本法」・「学校教育法」の改正、「学習指導要領」の全面改訂に基づいた教科書採択がされるよう教育委員会への意見書の提出を求める陳情書

教科書採択に際し、「教育基本法」・「学校教育法」の改正、「学習指導要領」の全面改訂、また「教科用図書検定調査審議会報告」に基づき、改善された内容が反映された教科書であるか、調査研究を行い、もっとも適切と思われる教科書を採択することを教育委員会に提出することを要望する。

※左記・上記の2つの陳情が提出され、所管の委員会へ報告されました。

「議案審議」関連情報

請願と陳情

市政についての要望や意見がある場合、議会へ直接提出することができます。「請願」や「陳情」と呼ばれるもので、違いは下記のとおりです。

請願 所管の委員会で審査した後、本会議で採決を行う

陳情 採決は行わないが、所管の委員会へ報告を行う



なお、請願・陳情は書式や提出方法が決められていますので、詳しくは議会事務局(P12参照)までお問合せください。
※市議会ホームページ(P12参照)の【お知らせ】→「請願・陳情の提出」でも、詳細をご覧ください。



6月15日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。
委員会の審査内容を、主な質問と答弁に要約して紹介します。

産業 建設 委員会

6月16日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第77号】 工事請負契約の締結
(都市計画道路猿投公園線
高架橋上部工工事)

質問 今回は、市内業者以外の者を代表とする建設共同企業体方式であるが、市内業者を構成員とすること以外に市内経済に配慮した点は何か。

答弁 市内経済に対する配慮として市内貢献策を導入し、下請け、資機材調達などに対する市内業者の活用と育成、工事期間中における2次的経済効果の2点に対し提案を求めた。その結果、落札業者からは主要資機材である鉄筋や生コン、また労務、資機材等市内調達提案を数多くいただいた。

また、2次的経済効果として、従業員の飲食など多くの提案をいただき、具体的な経済効果についても数値で示されていることから、市内経済に対し大いに貢献できるものと期待している。

【第79号】 財産の取得
(基幹バス)

質問 現在、川口・飯野線で使用している、28人乗りマイクロバスから36人乗り小型ノンステップバスに変更する理由は。

答弁 川口・飯野線は現在運行している基幹バスの中では最も利用者が少ない路線であるが、地域と共働で利用促進に努めた結果、平成22年度には利用者が前年比2.5倍に増加した。特に小中学校の通学者の利用が増加し、特定の便に利用者が集中している。その際、現行のマイクロバスでは補助席を利用するため、乗降に時間がかかること、また現在販売されているマイクロバスにはノンステップ仕様が無いなど、今後の車両の使い勝手や利用促進、路線の再編成の方針等を勘案し、小型ノンステップバスを購入することにした。

環境 福祉 委員会

6月17日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第74号】 豊田市産業廃棄物処理に係る行政処分の基準等に関する条例の一部を改正する条例

質問 今回の条例改正は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正によるものだが、産業廃棄物の不適正処理を防止するためにとられた措置としては主にどのようなものがあるか。

答弁 排出事業者による適正な処理を確保するための対策の強化として、産業廃棄物を事業場の外で保管する際の事前届出制度の創設、事業者が産業廃棄物を処理委託する場合の処理状況に関する確認の努力義務の規定、従業員などが不法投棄などを行った場合の罰金の引き上げなどがある。

【第78号】 財産の取得
(覆土代替材散布機)

質問 現在使用している機械をどのように処分するのか。

答弁 再利用することは困難なので、金属等有価物については売却、その他の廃棄物については産業廃棄物として適正に処分する。

教育 次世代 委員会

6月20日に委員会を開催し、陳情2件を報告しました。(付託議案なし)

生活 社会 委員会

6月21日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情を1件を報告しました。

【第75号】 豊田市産業福祉施設どんぐりの里いなぶ条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

質問 これまで、7月24日をリニューアルのオープン日として周知が図られてきたと思うが、今後、利用者に対し、どのように延期を周知していくのか。

答弁 広報とよた7月15日号でリニューアルオープン日の周知を行い、10月1日号では、どんぐりの里いなぶの特集を組む予定である。その他、豊田市のホームページやどんぐりの里いなぶのホームページでも周知を図っていく。

また、ポスターやチラシを周辺の国道沿いの施設約50箇所に掲示、配布しPRを行っていく。

【第80号】 財産の取得
(消防ポンプ自動車)

質問 今回、消防ポンプ自動車を更新することによって、不要となる車両については、どのような方法で処分されるのか。また、東日本大震災の被災地へ提供することは考えたのか。

答弁 今回不要となる車両は、財団法人日本消防協会を通して開発途上国へ提供される予定である。被災地への譲与については、3月に全国消防長会から被災地消防本部への消防車両の譲与についての照会があり、本市としても提供の意向を示していたが、4月に関東地方周辺の消防本部を中心にまかなえた旨の連絡があり提供は見送った。



委員会

企画
総務
委員会

6月22日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第72号】 豊田市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例

質問 国際交流協会と文化振興財団の2団体が公益財団法人に移行しているが、従来の財団法人と公益財団法人では、どこが違うのか。

答弁 公益法人制度改革により、法人の設立と公益性の判断が分離され、法人の設立は登記のみで行い、公益性の判断は有識者による委員会認定されることになった。公益財団法人は客観的に公益目的事業を実施していることが認定された団体であり、「公益財団法人」の名称を使用できることから、社会的信用が高まる。また公益財団法人となることで、法人税における公益目的事業が非課税となるなど、税制上のメリットがある。

質問 市の協会公社等について、今後も派遣職員の引き揚げを進めていくには、協会公社等のプロパー職員の人材育成が必要である。市として、どのように人材育成を支援していくのか。

答弁 単独では研修を実施することが困難な団体もあるため、平成23年度から市職員対象の研修に、市協会公社等のプロパー職員も参加できるようにした。また、併せて、市職員対象の通信教育の受講についても、協会公社等の職員から希望がある場合は受講できるようにした。今後も、市派遣職員引き揚げ後の団体運営に支障がないよう、団体職員の人材育成に関する支援を行っていく。

予算
決算
委員会

6月15日から24日にかけて、付託された補正予算1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第76号】 平成23年度豊田市一般会計補正予算

質問 どんぐりの里費について、今回の大規模改修にあたって、改修の内容はどのようなものか。また、これまでと同様の工事内容では再び天井などが腐食すると考えられるが、これに対する改善はなされているのか。

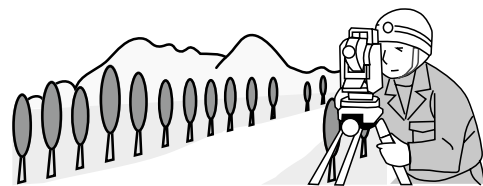
答弁 今回の改修では、屋根下地材の野地板、垂木の取替えを行った。今後は腐食が起らないよう、再発防止策として、通気口として屋根の棟押さえ部分に換気口を追加した。また、吹き抜け部分についても、天井裏の換気をするためファンを設置した。

質問 徴収費について、過誤納還付金として4億6千万円が計上されているが、過誤納還付金が発生した理由は何か。

答弁 租税条約実施に伴い、市内の企業とその外国子会社との間の取引に関連して、日本と子会社のある外国の間で二重課税が発生していたが、両国政府間の協議が決着し、日本で納税されていた分の一部が還付されることになった。このことにより、市内の企業が過去に納付した法人税について、平成23年2月に国税更正が行われたため、それに伴い、法人税額を課税標準とする法人市民税の過誤納還付金が発生した。

質問 林業費について、林道整備は県の補助金採択があったときに整備するのか。また、林道整備の優先順位はどのようなか。

答弁 林道の整備は小規模な法面崩壊の補修事業などは単市で行うこともあるが、基本的には、林道の開設、舗装事業は、県または国の補助採択を基本に事業を行っている。また、整備の優先順位は、崩壊している林道は直ちに状況を確認し復旧を行うが、そのほか法面の崩れや側溝が埋まっているところなどについては、林道の利用状況を見ながら順次工事を行っている。



議案に対する意見

多文化共生推進費について、市の国際化に対する取組が、数年前と比較すると、市民の目に見えるかたちでの取組が少なくなってきた。財源の問題もあるが、今後も国際都市として継続的に、国際化に向けた取組をお願いしたい。



6月13日から15日にかけて、21人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する9月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

都築 繁雄

自民クラブ

- 自動車業界の木・金曜日の休み導入に伴う影響
- 第7次総合計画の今後の取組

質問 市として東日本大震災をどう捉えているのか

自動車産業など、本市における東日本大震災の影響が懸念されるが、この震災をどう捉えているのか。

答弁 市長

今回の震災は、日本が地震国であることを知らしめた衝撃的な震災であり、原子力発電所の事故も含め、想定外の被害をどう想定するかという課題を改めて提起した。本市でも製造業や雇用への影響、経済的ダメージの拡大、電力不足に伴う市民生活への影響など、行政が対応すべきことが新たに発生した。今後の国の総括をはじめ情報を把握し、現地に派遣している職員の経験を活かすなど、防災対策を行う必要があると考えている。

作元 志津夫

市民フォーラム

- 東日本大震災による豊田市への影響と今後

質問 自動車産業の土日操業をふまえて保育に対する市の対応は

夏の電力不足の懸念から、本市の自動車産業は木金休みの土日操業となる。保育に対する市の対応は。

答弁 子ども部

保護者のニーズをふまえて、こども園は7月から9月の休日・土曜日保育の受け入れを拡大する。日曜日は公立の指定園を1園から14園に拡充し、公私立合わせて25園で対応。土曜日は現在の47園から49園に拡充し、保育師を増員して対応する。放課後児童クラブは7月から9月の土日に臨時クラブを8箇所開設する。開設するクラブは1ヶ月単位の持ち回りとし、指導員は開設するクラブとともに他クラブの指導員の応援も受け交代で配置する。

木本文也

自民クラブ

- 民芸館の管理運営
- 美術館の管理運営

質問 「民芸の溪」構想に前田公園を活用しては

「民芸の溪」構想に、前田公園を活用し「観光と交流」という視点で取り組んでいくべきだと考えるがいかがか。

答弁 教育行政部

愛護会が中心となり施設整備や植樹などが進められている前田公園は、歴史のある貴重な資源のひとつだと捉えている。「民芸の溪」構想の推進においても、その活用を含めて検討していく予定である。検討作業にあたっては、文化や文化財という視点にとどまらず、市民の憩いの場としての役割を担うとともに、「観光と交流」という視点もふまえた上で、関係課とも協議しながら検討を進めていく。

日恵野 雅俊

自民クラブ

- 豊田市中心市街地活性化基本計画
- 第43回豊田おいでんまつり

質問 中心市街地活性化基本計画の取組概要と今後の方策は

中心市街地活性化基本計画では、都心の公共施設が連携し都市機能が集積された中心市街地の確立を目指している。現在までの進捗状況と今年度の取組概要、各施設間の回遊性を高める方策はどうか。

答弁 教育行政部

現在までは各施設が連携あるいは単独での取組項目を定め、今年度は「施設の利用や貸出しに関する規定の見直し」「情報の収集や発信のあり方の点検評価」「スタジアムを中心とした経済波及効果」の調査、公共施設間のスタンプラリーやキャンペーン

を実施する。また、今年度からは産業部と教育委員会で都心の活性化に向けて合同で取り組んでいる。



梅村 憲夫

自民クラブ

- 本年度事業の重点取組

質問 国の環境未来都市構想に関する取組

環境未来都市構想に関しどう取り組むのか。本市の特性を活かし、エネルギー関連業種の誘引も必要ではないか。

答弁 総合企画部

今年1月に国の環境未来都市構想に関するアイデア提案募集があり、本市は、安全・安心に対する価値観の変化やエネルギー問題への関心の高まりに対応できるまちづくりを柱とし、「安全・安心・持続可能な次世代エネルギーモビリティ都市」を目指すべき都市像に掲げ、暮らしの質の向上と経済成長の両立を将来ビジョンに据えた提案を行った。また、再生可能エネルギーなどの新分野の企業誘致や産業育成などについても提案を行った。

根本 美春

諸派

- 子どもたちの健康のため扇風機の設置を
- 納税者の暮らしを破壊する滞納整理は改善を

質問 夏の暑さ対策として小中学校へ扇風機の設置を

夏の異常な暑さから子どもたちの健康を守る教室への扇風機設置は、市の責任で行うべきだと考えるがいかがか。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

一般質問

答 弁 教育行政部

これまで環境に配慮した夏の暑さ対策のモデル事業として、緑のカーテンモデル事業や土橋小学校エコ改修事業に取り組んできた。教育委員会としては、昨今の厳しい夏の暑さの中で児童生徒の学習環境をどのように確保していくのか、検討をしていく必要があると考えている。今年度、教育委員会の点検評価の対象事業として夏の暑さ対策を取り上げるが、その結果をふまえての検討となるため、現段階では具体的なことは決まっていない。

佐藤 恵子 公明党

- 支えあう災害に強いまちづくり
- ごみ出しの現状と減量施策

質 問 被災者支援システムを導入する考えは

兵庫県西宮市が阪神淡路大震災の時に独自に開発した被災者支援システムが、東日本大震災の被災自治体でも活用されている。本市はこのシステムを導入しているのか、してなければ導入の考えはあるのか。

答 弁 社会部

兵庫県西宮市が開発したシステムは、住民基本台帳のデータと家屋台帳のデータをあらかじめ統合しておき、震災発生後、調査した家屋の被災情報や避難、被災状況などの個人データを一元的に管理することで各種支援制度の管理等に対応できるツールである。現在は導入していないが、今後、関係部局の意見も聞きながら見直し検討課題とする。

岩月 幸雄 自民クラブ

- 市民による社会貢献活動の活性化

質 問 テーマ型コミュニティが活性化するための支援策は

福祉や健康、子育てなどテーマに沿って地域を越えて活動している「テーマ型コミュニティ」を活性化するための支援策は。

答 弁 社会部

資金確保の支援として、昨年度に市民活動促進委員会にて補助金制度の見直し検討を行い、今年度から市民活動の「立上期」「継続期」「発展期」と3つの段階に対応した新たな補助制度を運用している。また、とよた市民活動センターでは、民間の助成金を獲得するために役立つ講座など、市民活動・団体の運営上で必要なスキルアップ講座を行っている。今後もニーズに応じた支援や活動団体の状況に応じた支援策を検討する。

杉浦 弘高 自民クラブ

- 市政運営

質 問 来年2月に任期を迎える市長の進退の表明時期は

来年24年2月に3期目の任期を満了する市長の進退表明時期はいつ頃か。

答 弁 市長

私が市長に就任した直後に民間産業廃棄物処理施設におけるダイオキシンの放出事案、東海豪雨、豊田そごうの閉店などがあり、市長としての船出は多難であったが、市民のみなさまのご協力や議会の力強いご理解があったからこそ今日を迎えられているのだと、今改めて感謝している。現在は東日本大震災に伴う緊急の対策をはじめ、市政全般にわたり市長としての職務に懸命に取り組んでいる。進退を含めた今後については、9月市議会定例会には結論を出したいと思っている。

古木 吉昭 市民フォーラム

- 防災への取組

質 問 災害時に備えた食料品などの備蓄状況と自治区との連携

食料品などの備蓄状況について、市の取り組みと自治区自主防災会倉庫との連携はどうか。

答 弁 社会部

自主防災会が行う防災活動に必要な防災施設や防災機材の整備、備蓄食料の確保のためには自主防災会補助金の制度が活用されており、地区防災倉庫と交流館防災倉庫に保管されている食料や資機材は、市全域をカバーするために備蓄されている。なお、備蓄品は災害が起こった際に市民に行き渡ることが必要であるため、今後の災害時に備えて各備蓄倉庫に何が収納されているのかを今一度確認し、各防災倉庫の連携を図りながら効率的な支給体制に努めていく。



深津 眞一 自民クラブ

- 豊田市の防災対策
- 豊田東インター周辺の今後
- 豊田市民の健康増進

質 問 地域ぐるみで取り組むこころの健康づくり

こころの健康づくりは周囲のサポートが大切であると考えているが、市の具体的な取組は。

答 弁 福祉保健部

地域で直接市民と接する機会の多い薬局薬剤師を対象とし、こころの健康不安を抱えている人に気づいて声をかけ見守るゲートキーパーとしての研修会を実施したり、地域の健康づくりボランティアであるヘルスサポートリーダーに対してもこころの健康に関する研修会を実施した。職場に対してはメンタルタフネス講演会やメンタルヘルス研修会を実施しました。今後も個人だけではなく家族や職場、地域ぐるみで取り組める環境づくりを進めていきたいと考えている。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム 公明党：公明党豊田市議団

清水郁夫

自民クラブ

●豊田市の医療の検証

質問 病院・救急医療施設の配置課題と今後の展開

医療希薄地域への対応をはじめ、地域医療センターの再整備計画など病院・救急医療施設のバランスと課題について、市の見解と今後の展開は。

答弁 福祉保健部

医療機関のほとんどは民間の医療法人や個人が開設しており、必ずしも地域バランスを考慮して配置されているわけではない。今年度から地域医療センターの再整備についての検討の中で、医療関係者の協力により検討委員会を立ち上げ、地域バランスの素案検討を進めていく。また、現状の各医療機関の配置状況やバランスなどを考慮することも必要であり、それらに関して各種資料を作成して参考にしたい。

伊井房夫

自民クラブ

- 木瀬浄水場の本格稼働
- スポーツ施設環境の充実
- 豊田市の土砂災害対策

質問 給水が停止している木瀬浄水場の稼働スケジュールについて

平成14年から給水が停止したままの木瀬浄水場について、本格稼働までのスケジュールは。

答弁 上下水道局

木瀬浄水場の給水再開に向けた取組として、平成20年度に実施したミニプラントによる実証実験では臭気などに対する良好な結果が得られ、平成22年度に高度浄水処理施設を設置し、浄水施設全体の試験運転を行っている。並行して水質検査も継続的に実施しており、そちらも良

好な検査結果が得られている。給水については季節変動、水源状況変化及び試験運転結果を見て総合的に判断し、現在のところ、再開時期は本年11月上旬を予定している。

桜井秀樹

市民フォーラム

●豊田市の墓地の確保策

質問 公営の合葬式墓地と墓地の返還制度の提言

墓地確保に向けた取組のひとつとして、公営の合葬式墓地と墓地の返還制度を提言するが、市の考えは。

答弁 福祉保健部

平成21～22年度に実施した墓地に関するアンケートでは、公営墓地を希望する人が一番高い割合であった。納骨堂や合葬式墓地についても利用希望者は多く、費用面だけでなく将来の少子高齢化に伴う墓所の管理からも有効と考える。合葬式墓地については新たな墓地形態として検討する。また、古瀬間墓地公園条例では墓所が不用になった場合は現状に復元して返還することとなっているが、今後の利用状況等を参考に返還制度を検討していく。

鈴木章

自民クラブ

●学校規模適正化への取組

質問 足助地区における学校統廃合への判断について

足助地区の学校規模適正化の取組について、学校統廃合の判断は誰の意見が最も尊重されるのか、教育委員会の見解は。

答弁 教育長

学校の統廃合の判断に関しては、より良い学習環境について検討するため、地域住民による「子どもの学習

環境改善委員会」で十分に議論され出された結論を尊重し、判断すべきであると考えている。統廃合が子どもたちにとって最善の方策であると地域の合意形成がなされた場合は、それを受けて教育委員会の方針を決定し、市長の同意と議会の議決を経て最終決定となる。よって、地域の合意形成なしに統廃合を進めることはない。



近藤光良

自民クラブ

- 地震対策
- 水害対策

質問 境川流域の水害対策今後の整備方策について

東海豪雨の際に起こった境川流域のはらんについて、水害対策や今後の整備方策はどのようか。

答弁 建設部

東海豪雨を契機に施行された「特定都市河川被害対策法」により、特定都市河川流域に指定された流域は貯留浸透施設の設置が義務化され、また、保全調整地に指定することで雨水調整地についても積極的に保全できるようになる。境川流域を特定都市河川流域に指定するべく現在協議を行っており、実現すれば総合治水対策を進めることが可能となる。また、自然湧水機能を有する土地や調整機能を持つため池についても、極力保全するよう指導を行っていく。



一般質問

諸 派：会派所属無

太田博康

自民クラブ

- 東日本大震災を教訓とした防災対策の見直し
- 東日本大震災の本市産業への影響と対策

質問 東日本大震災による本市産業への影響と対策は

東日本大震災を受けて、市における第1次産業、第2次産業、第3次産業への影響と対策は。

答 弁 産業部

国内では愛知県産農産物の風評被害の影響はない。国外流通の影響も少なく、現時点では緊急対策の必要性はないと考えている。工業に関しては、自動車産業では稼働率が低下、建設業も深刻な影響を受けており、雇用維持と資金繰り支援への予算措置を行った。また、市内中心市街地の売上や宿泊施設の損失額などから、商業及びサービス業にも影響が出ていると思われる。緊急経済対策として信用保証料補助およびプレミアム商品券の発行を行う予定である。

岡田耕一

諸 派

- 本市における選挙制度改革の提言
- 子ども関連施設等の放射能汚染調査の実施

質問 子どもたちが活動する場の放射能汚染調査実施の考えは

子どもたちが活動する場の放射能汚染調査を実施する考えはあるのか、市の見解は。

答 弁 子ども部

愛知県のホームページによると、県内では人体への影響が懸念される放射線量は検出されておらず、水道水の放射能測定結果についても検出下限値を下回っているなど、福

島第一原子力発電所の事故が起こる以前と同程度の状況である。愛知県周辺の各県のデータを見ても過去の平常値の範囲内と同程度の数値となっていることから、現時点では安全かつ安心できる状況だと考え、放射能汚染調査の実施は考えていないが、放射線量の調査結果などを今後も注視していく。

田代 研

公明党

- 妥当性のある選挙制度

質問 投票日当日と期日前投票を同じ条件で行うべき

複数の選挙が同時に行われる場合、投票日当日は投票用紙が別々に配られるが、期日前投票ではすべての投票用紙を一度に渡されるため間違いが起こりやすくなるのではないかと。期日前投票も同じ条件にすべきでは。

答 弁 選挙管理委員会

国政選挙における期日前投票は、会場のスペースや職員配置人数などの関係により投票用紙の同時交付を行っているが、選挙人からもわかりにくいとの指摘もあり、投票日当日と同様に2度交付する必要性を感じている。2度交付については、スペースの確保と人員増が必要となるため、会場や開設期間などを考慮し、実施に向け検討する。



大村義則

諸 派

- 地震災害対策計画の見直しを
- 放射能問題とエネルギー対策
- 土日出勤に関わる子育てへの影響と対策

質問 保育費負担分として企業へ「保育手当」の支給申し入れを

自動車関連企業の土日操業により、子どもを持つ従業員は保育費などの負担が増える。市から企業へ、「保育手当」支給するよう申し入れしてはどうか。

答 弁 子ども部

今回の自動車関連企業の取組は、懸念されている夏の電力供給不足に対応するものと理解している。多くの人が影響を受けると予想されるが、市の役割は、子どもの預け先の確保が困難な人たちが安心して働くことができる環境を提供することと考えている。休日は家族で過ごしていただくよう、保護者や企業に情報発信をしていくが、企業に対して保育手当を支給するよう申し入れる立場にはない。

中村孝浩

市民フォーラム

- 高齢者のため

質問 高齢者を地域で支えるための本市の取り組みについて

今後の高齢者住宅施策の取組について

答 弁 福祉保健部

今後の高齢者住宅施策は、急速に進む高齢者の増加に加え、高齢者のひとり暮らしや夫婦のみの世帯などに対しバリアフリー化を推進した市営住宅の建替えやシルバーハウジングの整備を行うとともに、民間事業者の積極的な参入によるサービス付高齢者住宅などの整備が進むことを期待している。また、高齢者ができる限り住み慣れた住宅や地域で生活ができるよう、今年策定予定の「第5期豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」において「地域包括ケア」の構築を検討していきたいと考えている。



藤岡中学校生徒が議会を傍聴

～議会を身近に感じるきっかけに～



■傍聴の様子

6月14日には藤岡中学校3年生の生徒147名が社会科の授業の一環として6月定例会の傍聴に訪れ、一般質問を熱心に聞いていました。

豊田市議会では、わかりやすく開かれた議会を目指して、議会傍聴や議場見学の受け入れを行っています。

○議員有志による花飾り活動



■花飾り活動の様子

花のあるまちづくりの一環として、6月10日に市役所の庁舎連絡橋で議員有志が花飾り活動を行いました。この活動は「愛・地球博」を契機に始まり、11回目となる今回は、ハンギングバスケット協会のマスター5名を講師に迎え、ベゴニアやコリウスなどを使った寄せ植えを作成。南庁舎と西庁舎を結ぶ連絡橋に設置し、行き来する方々を風に揺られる花々がおもてなししています。

○被災地での支援活動体験を聞く



■講師の小林自衛隊愛知地方協力本部長

6月22日に議員研修会を開催しました。当日は、実際に東日本大震災の被災地で活動された自衛官と市職員を講師に迎え、現地の状況や被災地が抱えている課題などについての体験談を聞くことができました。

本市議会で5月に設置した災害対策検討特別委員会での研修を生かし、巨大地震等の大規模災害時における議会の役割、対応、体制等について調査研究を進めていきます。

FMラジオで議会情報発信中!『市議会の扉』



豊田市議会では、毎月第4木曜日にエフエムとよた(ラジオ・ラプティート)で“議会とはどんなところか”を紹介するPR番組『市議会の扉』をオンエア中です。

毎月1回、テーマに合わせて議員が登場し、パーソナリティからの質問に答えながら議会情報をお届けします。どうぞお楽しみに!

◎放送時間／毎月第4木曜日 13:00～13:10

7月28日『政務調査費って何?』
7月31日『政務調査費って何?』(再放送)

◎再放送／翌週日曜日 8:45～8:55

8月25日『市議会に行こう!』
8月28日『市議会に行こう!』(再放送)

今後の
放送予定

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想、市議会へのご意見・ご要望も受け付けていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

「市議会だより」のバックナンバーや詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

豊田市議会

検索

<http://www.city.toyota.aichi.jp/fa00/fa01/main.html>

<その他>の「議会中継 録画映像」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(デジタル)



F M ラ ジ オ で

FMとよた(ラジオ・ラプティート)生中継
チャンネル/78.6MHz

9月市議会定例会の予定

9月市議会定例会は
9月2日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。

※このページは裏面になります。
本紙から抜き取ってご覧ください。



古紙の配合率100%再生紙を仕株



PRINTED WITH SOY INK



豊田市議会は、古紙配合率100%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています